

(地方創生)政策評価調書(28年度実績)

政策名	人を大事にし、人を育てる	所管部局名	企画振興部	政策コード	IV-1
		関係部局名	企画振興部、福祉保健部、生活環境部、教育庁	長期総合計画頁	169

【Ⅰ. 政策の概要】

子どもを生き育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくりなど、自然増のための環境を整える。また、高齢者や障がい者、女性など多様な人材の活躍を促進するとともに、大分県の将来の担い手となる子どもの教育の充実を図る。

【Ⅱ. 構成する政策・施策(主な取り組み)の評価結果】

取組No.	政策名	施策名	指標評価	総合評価
①	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	達成	A
		きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	達成	A
		結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進	達成	A
②	健康寿命・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～	みんなで進める健康づくり運動の推進	達成	A
		安心して質の高い医療サービスの充実	概ね達成	A
		高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築	達成	A
③	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	障がい者の就労支援	概ね達成	B
④	安全・安心を実感できる暮らしの確立	健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進	概ね達成	A
⑤	男女が共に支える社会づくりの推進	女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築	達成	A
⑥	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進	達成	A
		グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成	達成	A
		信頼される学校づくりの推進	達成	A
		「知(地)の拠点」としての大学等との連携	達成	A
		変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援	達成	A

【V. 施策に対する意見・提言】

○おおいた子ども・子育て県民会議(H28.6)

・一番困るのは病児保育。子どもが病気の時に、保護者が休むのは当然という考えを広げ、公的支援や多様な働き方を推進して欲しい。

○第5回安心・活力・発展プラン2015推進委員会(H29.2)

・ファミリー・サポート・センター未設置の自治体があるなど市町村間で取り組みにばらつきがある。病児等の受入に向けた研修に加え、センター数を拡大する取り組みを併せて実施して欲しい。

○健康寿命日本一おおいた創造会議(H29.2)

・健康寿命延伸には、健康経営事業所の拡大が必要。
・健康づくりは、地域の活性化にもつながるため、地域振興部局との連携が必要。
・県民運動の機運醸成には、多様な主体との協働による県民大会の開催等は効果的。
・健康寿命延伸には、高齢になっても社会と緩やか繋がるボランティア活動等生きがい対策も必要。

○平成28年度第16回大分県教育委員会(H28.11)

・高校生サミット(グローバルリーダー育成塾)は大変よい取り組みであり、できるだけ多くの生徒に参加してもらい、将来の日本を支える人材として世界へ挑戦する意識を高めしてほしい。また、グローバルリーダー育成塾では、将来の見通しが持てる、夢のある話をしてほしい。

【VI. 推進上の課題と今後の展開について】

合計特殊出生率が1.59から1.65と0.6ポイント上昇(上昇幅全国1位)し、出生数も減少率が全国で最も低くなるなど、「子育て満足度日本一の実現」に向けた、出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目ない支援の成果の兆しが現れている。

しかしながら、少子高齢化が進み、自然減が依然拡大していることから、子どもを生み育てやすい環境づくりを引き続き進めるとともに、「健康寿命日本一の実現」、地域包括ケアシステムの構築といった健康長寿の社会づくりなど、さらなる自然増のための対策を、仕事づくり・地域づくりといった社会増のための対策と合わせ進めていく必要がある。

また、「障がい者雇用率日本一の実現」や、女性が子育てをしながら安心して働ける環境づくりなど、多様な人材の活躍の促進に取り組むとともに、子どもの教育にさらに力を入れ、将来を担い未来を切り拓く人材を育てて行く。